

知ろう議会のダイレクトニュース 一歩先へ

うれしの 市議会だより

令和8年
(2026)
4月27日発行

vol. 81

令和8年 第1回定例会

| | |
|----------|-------|
| 議員紹介 | 2~3 |
| 第1回定例会 | 4~5 |
| 補正予算 | 6~7 |
| 議案のなかみ | 8 |
| 事業のなかみ | 9~11 |
| 人事・賛否表 | 12 |
| 発議・陳情 | 13 |
| 一般質問 | 14~23 |
| 特別委員会 | 24 |
| 付託案件ほか | 25 |
| 議員とかたろう会 | 26~27 |
| トピックス | 28 |

発行・嬉野市議会 編集・議会広報編集特別委員会
〒849-1492 佐賀県嬉野市塩田町大字馬場下甲1769番地
TEL 0954(66)9127 FAX 0954(66)2887



市議会!

第2回
臨時会

議員紹介

第1回定例会

補正予算

議案のなかみ

事業のなかみ

人事・賛否表

発議・陳情

一般質問

特別委員会

付託案件ほか

議員とかがらう会

第2回 臨時会

議長・副議長選挙を実施

令和8年1月25日に行われた嬉野市議会議員選挙によって、現職14名、新人2名による新たな議会が誕生しました。それに伴い、2月5日に開催された令和8年第2回臨時会で議長・副議長及び各常任委員会と議会運営委員会の委員構成が決まり、新しい嬉野市議会が動き出しました。



諸井 義人 副議長



田中 政司 議長



諸上 栄大



田中 政司



宮崎 良平



阿部 愛子



森田 明彦



古川 英子

総務企画常任委員会

4月からは、秘書広報課、企画政策課、総務課、防災安全課、財政課、税務課、環境政策課、会計課、議会事務局、監査委員事務局、選挙管理委員会事務局を担当します。

- 委員長 宮崎 良平
- 副委員長 古川 英子
- 委員 田中 政司 森田 明彦 諸上 栄大 阿部 愛子



動きだす

第2回 臨時会



團 隆則



梶原 睦也



大串 友則



諸井 義人



水山 洋輔



太田 政信



辻 浩一



芦塚 典子



山口 虎太郎



川内 聖二

文教福祉常任委員会

4月からは、こども未来課、健康づくり課、福祉課、地域共生社会推進課、市民課、教育総務課、学校教育課、社会教育課を担当します。

- 委員長 大串 友則
- 副委員長 水山 洋輔
- 委員 梶原 睦也 諸井 義人 團 隆則

産業建設常任委員会

4月からは農業政策課、うれしの茶振興課、観光商工課、建設農林整備課、都市計画課、下水道課、農業委員会事務局を担当します。

- 委員長 芦塚 典子
- 副委員長 川内 聖二
- 委員 辻 浩一 山口 虎太郎 太田 政信

議会運営委員会

議長の諮問に関わる事や議会運営について担当します。

委員長

川内 聖二

副委員長

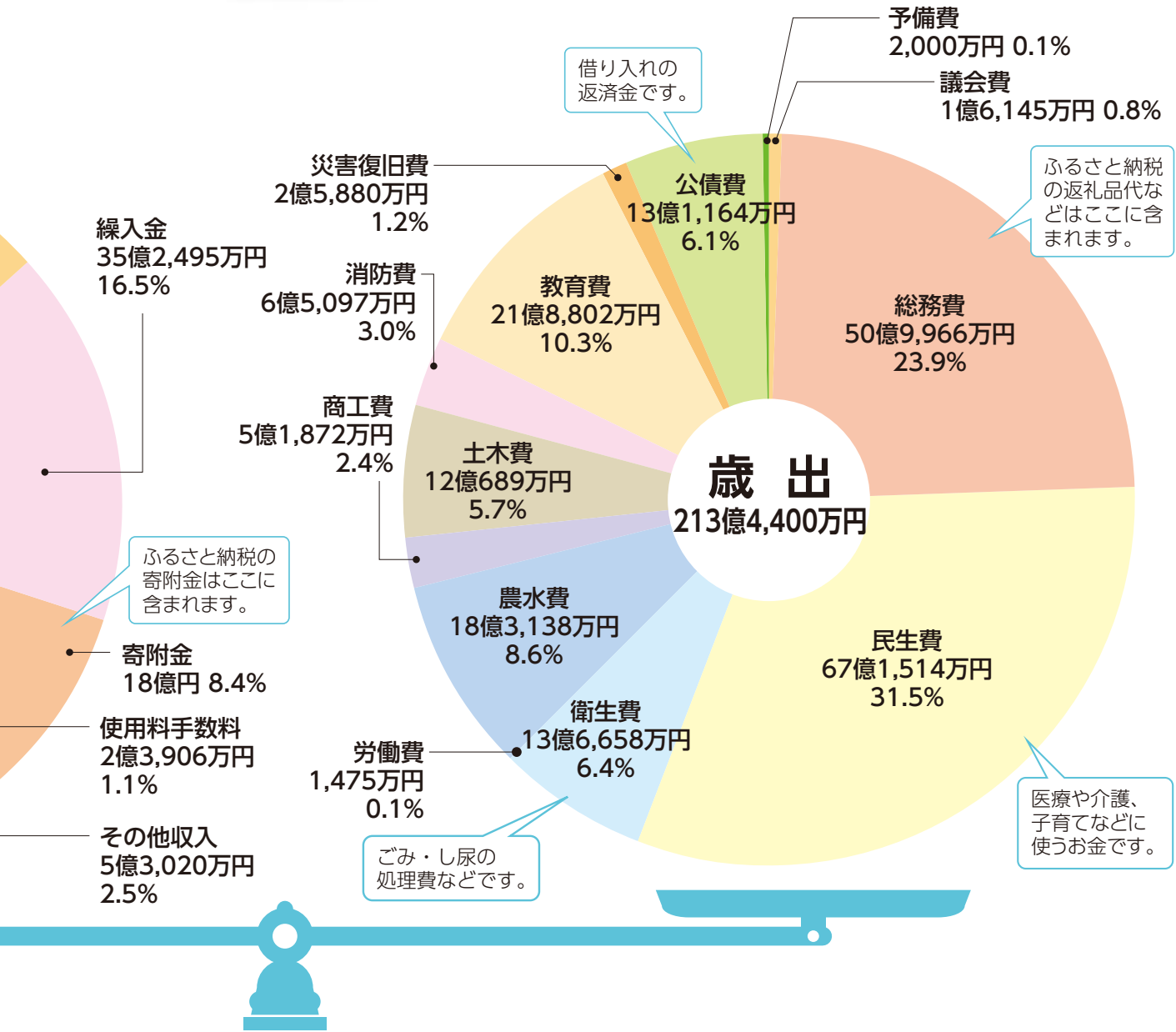
諸上 栄大

委員

梶原 睦也
芦塚 典子
宮崎 良平
大串 友則

令和8年第1回定例会は2月27日から3月19日まで21日間の日程で開催され、令和7年度補正予算をはじめ、条例の一部改正、令和8年度当初予算、特別会計、また、追加議案で上程された人事案など慎重審議の上、いずれも可決しました。

一般会計予算は213億4千万円で、新市長就任後初の当初予算のため骨格予算となりますが、前年度より3億4千万円増で過去最大の予算規模となっています。



市長の声



新しく市長に就任しました山口卓也です。市民の皆様が明るく安心して暮らし、また、嬉野市を訪れる方に喜んでいただけるまちづくりに励んでまいります。

今議会では、生活必需品を提供する店舗の出店を促進するためにリバイブ横の市有地の無償貸付を提案しています。また、多子世帯の経済的負担の軽減を図るため第2子以降の保育料無償化を実施します。その他、5月中旬から9月下旬頃まで、市民の皆様を対象とした嬉野温泉宿泊キャンペーンや、全国お茶まつり佐賀大会に向けた予算を計上し、嬉野市の魅力向上を図ってまいります。

第1回 定例会

当初予算総額・過去最大の 213億円

Check①

過去最大の 予算、主な要因は？

- 1 保育料第2子無償化分などの子育て支援
- 2 低コスト耐候性ハウスを整備する強い農業づくり総合支援事業に9億円
- 3 小中学校学習用端末更新など学校教育に必要な予算などが挙げられます。

Check②

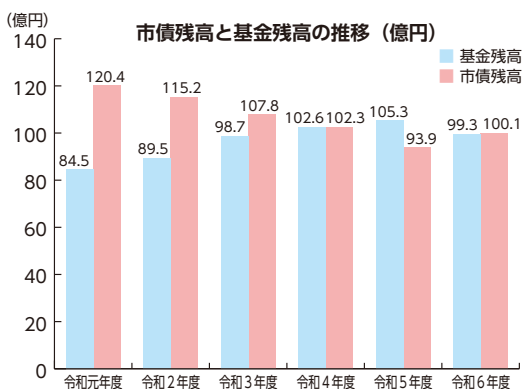
財源は どこから？

市税や国からの地方交付税、県支出金などに加え、ふるさと応援寄附金基金からの繰り入れ、また、新庁舎建設財源として公共施設建設基金から7億7千万円の繰り入れ。

今年度、市債は9億6千万円の発行予定となっています。

Check③

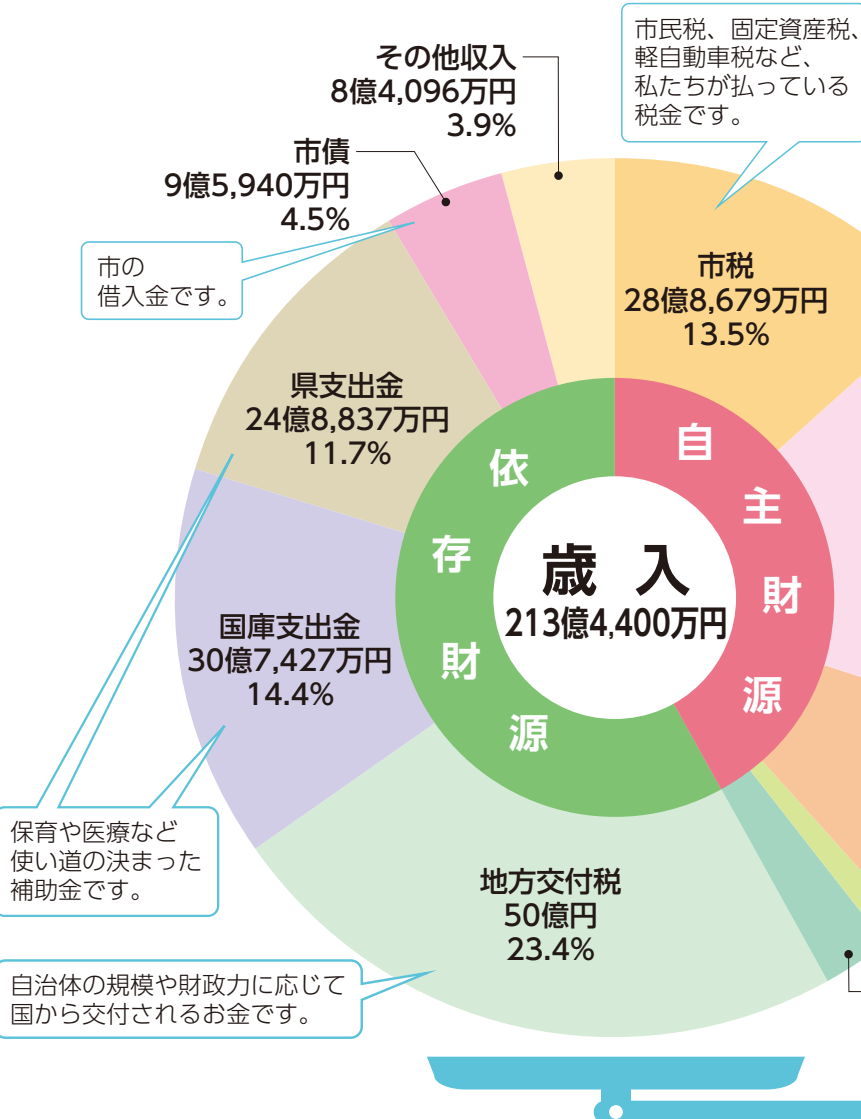
貯金と 借金の 今後は？



借金である市債の残高は、一時は新庁舎建築などの大型事業により増加傾向でしたが、ここ数年微減傾向で、令和6年度末は100億1千万円となっています。

いっぽう、市の貯金である基金は、令和6年度末で99億3千万円となっています。

特に財政調整基金は令和8年度の取り崩しにより16億2千万円減少する見込みであり、議会も注視する必要があります。



議長の声



令和8年度、当初予算においては骨格予算でありましたが、過去最高の予算額を可決しました。

今後、市の政策においては嬉野温泉の源泉、塩田庁舎の利活用など大きな課題が山積しています。

議会としてはそれらの課題に対し執行部がどのように対応していくのか、予算の執行状況をチェックするとともに、施策の内容を調査研究し、市政の一翼を担う議会としての役目をしっかりと果たさなければなりません。

と、考えています。

令和7年度補正予算

令和7年度補正予算は嬉野市一般会計及び特別会計の補正予算に関するもの3件で、「令和7年度嬉野市一般会計補正予算（第10号）」は歳入歳出予算の総額からそれぞれ2,470万3千円を減額し、補正後の予算総額は223億2,891万5千円となりました。

歳入予算は、市税、地方譲与税、各種交付金、地方交付税の収入見込みによる補正。

国県支出金については、事業費の確定、及び確定見込みによる財源内訳補正。財産収入については、保留地の売払収入による増額補正。

寄附金については、ふるさと応援寄附金の減額補正、そのほか国民健康保険特別会計からの法定外繰入金の返還金、新庁舎建設事業の財源内訳補正に伴う合併振興基金からの繰入金の補正などが主なものとなっています。

新基本計画実装・農業構造転換支援事業

6億5,000万円

国の新基本計画実装・農業構造改善支援事業費補助金を活用して、老朽した茶の加工施設を碾茶製造ラインに移行し、持続的な発展及び振興を図る事業です。

(注) 碾茶とは…揉まずに乾燥させたお茶。茶葉を蒸した後、揉まずにそのまま乾燥し、茎や葉脈などを除いた後の細片が「碾茶」となります。

問 どのような事業ですか。

答 老朽化した茶工場を集約して碾茶製造ラインに移行し、茶産業の持続化を図る事業です。

問 総事業費は。

答 約10億6,112万円です。補助金の内訳は国が5億6,271万円、県が8,038万円、市が946万円です。

問 事業主体は。

答 (株) TriniTea・上不動茶業組合共同事業体です。

問 碾茶製造に取り組まれる圃場面積は。

答 約16ヘクタールから約60ヘクタールへ拡張の計画です。



▲ おいしいお茶を世界に

渡り廊下屋根改修(塩田小)

572万円

この事業は、老朽化や破損が進んでいる塩田小学校の校舎と体育館をつなぐ渡り廊下の屋根を改修する事業です。これにより、雨天時でも児童が安全に通行できる環境を整備します。

また、強風や豪雨などの災害時にも避難経路としての機能を確保し、防災面での安全性を高めることで、学校全体の防災機能の向上と教育環境の改善を図ります。

問 渡り廊下はいつ頃からどのような不具合があったのか。

答 令和7年夏頃に、渡り廊下の屋根のガタつきがみられたため、タイダウンベルトで固定し一時的な対応を行っていた。

問 財源は。

答 国の学校施設環境改善交付金を活用する。



▲ 改修予定の渡り廊下

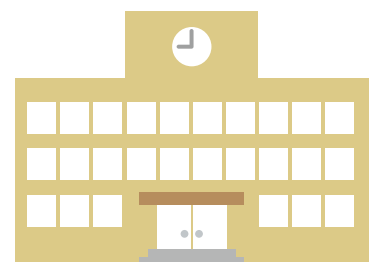
令和8年 第1回定例会 追加議案

今定例会においては、4件の追加議案が上程されました。議案第21号「嬉野市監査委員の選任について」、議案第22号「嬉野市副市長の選任について」、議案第23号「嬉野市固定資産評価員の選任について」、議案第24号「建設工事請負契約の締結について」となります。すべての追加議案は慎重審議の上可決しました。

「嬉野市副市長の選任について」では、質疑等で選任の経緯、市に対する忠誠等様々な質疑が行われました。

また「建設工事請負契約の締結について」では、大草野小学校の長寿命化建設工事請負契約の締結にあたり、契約額を約3億7,300万円とすることが決定しました。

今後は、すぐに本格的な工事に入り令和9年3月を目途に建設工事が完了し、その後に仮設校舎から引っ越す予定です。





議案のなかみ



嬉野市ひとり親家庭等医療費助成に関する条例の一部を改正する条例について

母子家庭、父子家庭及び父母のいない児童を援助することにより、生活の安定と福祉の向上をはかるための条例です。

令和8年11月1日から佐賀県内市町一斉に佐賀県内の保険医療機関等における医療費の助成方式が現金給付から現物給付に変更となります。

対象はひとり親家庭などの父や母（子どもが20歳になった月まで）と児童（18歳になった年度末まで）で、所得制限があります。自己負担額は医療機関ごとに1カ月当たり入院500円、通院500円、調剤は無料で統一されます。

問 市外の保険医療機関等にも適用されるのか。

答 佐賀県内の保険医療機関等であれば適用される。

| | 改正前【令和8年 10月31日まで】 | 改正後【令和8年 11月1日から】 |
|-------------------|--|--|
| 助成対象者 | ・母子家庭の母及び児童 ・父子家庭の父及び児童 ・父母のいない児童 ・一人暮らしの寡婦 | ・母子家庭の母及び児童 ・父子家庭の父及び児童 ・父母のいない児童 |
| 給付方式 | 償還払い（後日払い戻し） | 現物給付及び償還払い（後日払い戻し） |
| 自己負担額（助成対象者1人あたり） | 月額上限 500円 | (1 医療機関あたり) 通院 月額上限 500円 入院 月額 500円 調剤薬局 無料 |

▲ 新旧対照表

嬉野市老人福祉センター条例の一部を改正する条例

嬉野市嬉野老人福祉センターの使用料を「150円」から「200円」に引き上げるために条例を改正します。

問 いつからの値上げか。

答 令和8年4月1日からである。

問 なぜ、値上げする必要があるのか。

答 昨今の物価高騰や、水道料金の値上げに伴う維持管理コストの増大がある。市では引き続き、施設の適切な運営に努める。

問 塩田地区の老人福祉センターは有料化されるのか。

答 塩田地区の老人福祉センターには温泉設備がないため、無料となっている。



▲ 値上げされる嬉野老人福祉センター

財産貸付料の減額免除について 財産の無償貸付について

買い物環境の確保が困難な地域において、生活必需品を提供する店舗の出店を促進し、高齢者をはじめとする地域住民の生活の利便性向上を図るために、塩田リバーサイドショッピングセンター協同組合に貸し付けているリパティ横の市有地に係る財産の貸付料を減額免除及び今後は無償貸付とするものです。

理由としては、当該財産公益性の高い目的に沿って有効に活用するためです。

問 期限はいつまでか。

答 財産貸付料の減額免除が令和7年9月から令和8年3月までの7ヵ月。
財産の無償貸付が令和8年4月1日から令和18年5月31日となる。



▲ 早期の店舗誘致を



事業のなかみ



議員紹介

第1回定例会

補正予算

議案のなかみ

事業のなかみ

人事・賛否表

発議・陳情

一般質問

特別委員会

付託案件ほか

議員とかたろっ会

施設型給付費

1億6,290万円

嬉野市では、これまで国の制度により保育所等の保育料が3歳児から5歳児までは全員無料でした。また0歳児から2歳児までは「生活保護世帯及び住民税非課税世帯」のみが無料でした。

さらに、第2子のカウントも「未就学児が園に同時に通っている場合」などの制限がありました。

令和8年4月からは、市の独自施策で第2子のカウントを「同居する最年長の子どもから1人目と数える」よう年齢制限を撤廃し、所得に関わらず、0歳児から2歳児までの第2子以降の保育料を市が全額負担します。

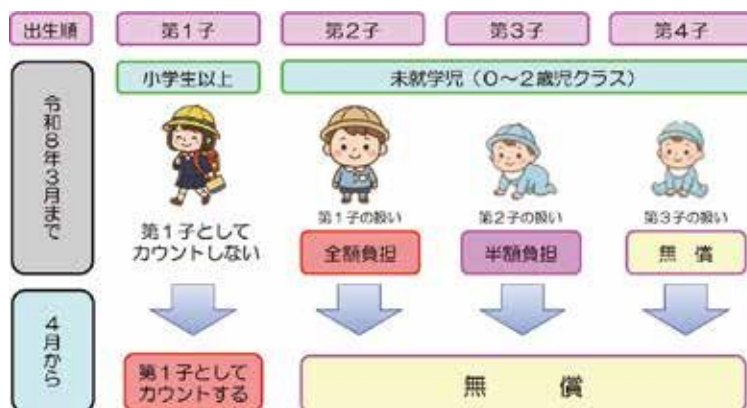
これにより、多子世帯の経済的負担を大きく軽減し、健やかな成長を後押しします。

問 所得制限などはあるのか。

答 所得制限はない。

問 財源は。

答 市独自の施策のため、一般財源で充当される。



閑散期対策事業

550万円

嬉野市観光戦略に基づき、市民の地元愛の醸成と観光振興に対する理解を深めることを目的として、嬉野温泉の閑散期（5月中旬から9月下旬頃まで）に市民を対象とした宿泊キャンペーンを実施します。

問 どのような事業か。

答 市民が嬉野市の魅力を再発見する宿泊キャンペーン事業で、嬉野温泉の閑散期に、市民対象に宿泊割引を行うというものである。

問 時期は何時ごろか。

答 閑散期は5月中旬から9月下旬頃までなので、夏場の時期になる。

問 対象者は。

答 原則として、市内在住者である。

問 総事業費は。

答 550万円であり、内訳は450万円が助成金の原資となり、100万円が事務費である。



▲うれしのもっと知ろう



全国お茶まつり佐賀大会

821万円

今年度を実施される「全国お茶まつり佐賀大会」の佐賀県実行委員会において事業を実施するとともに主催地である嬉野市でも実行委員会を設立し、生産者への支援やPR事業を行うための負担金として合わせて821万円が計上されました。

嬉野市の実行委員会では全国お茶まつり佐賀大会に向けた高品質茶生産及びうれしの茶のPRの為の支援が行われます。

問 スケジュールは。

答 出品茶品評会が令和8年8月25日から28日、
出品茶入札販売会が9月17日。
全国茶青年の集いが11月20日。
式典・褒賞授与式が11月21日に行われる。

問 各実行委員会への負担金は。

答 佐賀大会実行委員会596万円。
同嬉野市実行委員会225万円である。

問 佐賀大会の会場は。

答 出品茶品評会に出品茶入札販売会・青年茶審査技術競技会は、嬉野市中央体育館（U-Spo）で開催。
式典・褒賞授与式・展示会等は佐賀市文化会館他で開催となる。



▲ 昨年の全国お茶まつり（奈良市）の様子

轟の滝公園日子山橋改修

3,050万円

轟の滝公園に架かる日子山橋は、令和7年6月に橋の吊りワイヤー8本のうち1本が破断しているのが見つかり、歩行者の安全を確保するために通行止めとしました。

原因を確認したところ築50年ほどが経過し老朽化によるもので、早急に補修ができる方法を検討した結果、抜本的な対策が必要と判明しました。

今後は詳細な調査や設計、工事などの作業を行う必要があるため、今回は比較設計等を行うための予算計上です。

問 比較設計とは。

答 老朽化の補修で全体的に改修ができるか、新しく架け替えるかを判断するための設計業務である。

問 比較設計がなぜ必要なのか。

答 国庫補助事業に採択されるために必要な事業である。



▲ 早期の改修を望む



事業の

学校ICT環境整備事業

3,375万円

嬉野市では、文部科学省が掲げるGIGAスクール構想の理念に基づき、主体的・対話的で深い学びや創造性を育む学びを実現するために、令和2年度より小・中学校にタブレット端末を導入し、ICTを活用した学習環境を整備してきました。

今回、タブレット導入から5年が経過し更新時期となったため、小学校費で2,210万円、中学校費で1,165万円が予算化されました。

問 タブレット端末の導入により、どのような成果がみられたか。

答 授業支援アプリ、学習支援アプリ（AIドリル）を導入し、「個別最適な学び」「協働的な学び」を推進できている。
また、自然災害時での活用もできている。



新庁舎災害対策室映像表示システム整備事業

2,013万円

いつ起こるか分からない災害において、不測の事態を想定し準備を整えることが重要です。

新庁舎における災害対策室で使用する映像表示システムを整備し、迅速な情報収集と状況把握を可能にすることで、いち早く最適な対策を講じることができるよう2,013万円が予算化されました。

リアルタイムの映像と、様々な情報を連携し、可視化することで、より具体的で適切な対応を可能とします。市民の更なる安心安全につながっていくことを期待します。

問 モニターはどこに何台配置するのか。

答 災害対策室に固定100インチモニター1台、可搬型55インチモニター2台。
災害対策室外に可搬型モニター4台である。



▲ 対応時のシミュレーションイラスト

人事

○人権擁護委員候補者の推薦について、適任と認め答申しました。

八田 定文氏 (塩田町)

○副市長の選任及び嬉野市固定資産評価員の選任について、同意しました。

萩尾 友明氏 (久留米市出身)



○監査委員の選任について、同意しました。

山本 伸也氏 (嬉野町)



令和8年第1回 定例会議案賛否表(主なもの)

○は賛成 ●は反対 議長は採決に加わりません

| 議案番号 | 議案名 | 番号 結果 | 議員名 | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------|-------------------------------------|----------|----------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|----------------|----------------|----------------|----------------|---------------|----------------|----------------|----------------|
| | | | 1 表決数 | 2 太田 隆則 | 3 水山 洋輔 | 4 大串 友則 | 5 古川 英子 | 6 阿部 愛子 | 7 諸上 栄大 | 8 諸井 義人 | 9 山口 虎太郎 | 10 宮崎 良平 | 11 川内 聖二 | 12 森田 明彦 | 13 辻 浩一 | 14 芦塚 典子 | 15 梶原 睦也 | 16 田中 政司 |
| 議案第8号 | 嬉野市ひとり親家庭等医療費助成に関する条例の一部を改正する条例について | 可決 | 15:0 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第10号 | 嬉野市老人福祉センター条例の一部を改正する条例について | 可決 | 15:0 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第11号 | 令和7年度嬉野市一般会計補正予算(第10号) | 可決 | 15:0 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第12号 | 令和7年度嬉野市国民健康保険特別会計補正予算(第3号) | 可決 | 15:0 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第13号 | 令和7年度嬉野市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号) | 可決 | 15:0 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第14号 | 令和8年度嬉野市一般会計予算 | 可決 | 15:0 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第15号 | 令和8年度嬉野市国民健康保険特別会計予算 | 可決 | 15:0 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第16号 | 令和8年度嬉野市後期高齢者医療特別会計予算 | 可決 | 15:0 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第17号 | 令和8年度嬉野市下水道事業会計予算 | 可決 | 15:0 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第18号 | 財産貸付料の減額免除について | 可決 | 15:0 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第19号 | 財産の無償貸付について | 可決 | 14:1 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 諮問第1号 | 人権擁護委員候補者の推薦について | 可決 | 15:0 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第21号 | 嬉野市監査委員の選任について | 可決 | 15:0 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第22号 | 嬉野市副市長の選任について | 可決 | 14:1 | ○ | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第24号 | 建設工事請負契約の締結について | 可決 | 15:0 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 発議第3号 | 嬉野市議会委員会条例の一部を改正する条例について | 可決 | 15:0 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

市政を問う

新人議員2名を含む
15議員が質問

水山 洋輔 議員 P14

諸上 栄大 議員 P14

森田 明彦 議員 P15

諸井 義人 議員 P16

芦塚 典子 議員 P16

辻 浩一 議員 P17

川内 聖二 議員 P18

古川 英子 議員 P18

太田 政信 議員 P19

大串 友則 議員 P20

梶原 睦也 議員 P20

山口 虎太郎 議員 P21

團 隆則 議員 P22

阿部 愛子 議員 P22

宮崎 良平 議員 P23

発議

発議第1号

議会活性化特別委員会の設置及び付託について

理由

議会の活性化を図るべく調査研究を行うため。

発議第2号

議会広報編集特別委員会の設置及び付託について

理由

議会広報の編集発行に係る調査研究を行うため。

発議第3号

嬉野市議会委員会条例の一部を改正する条例について

理由

嬉野市部設置条例の改正に伴い、常任委員会の所管を変更するため。

陳情

mRNAワクチン（レプリコンワクチンを含む）接種事業中止の意見書提出を求める陳情書

千葉県旭市

宇井 淳氏

東京都新宿区において顕在化した事例を受けて、政党機関紙の庁舎内勧誘行為に関する早期の実態把握と再発防止を求める陳情

佐賀県三養基郡上峰町

パワハラから職員を守る

佐賀県民の会

代表 岡 孝二氏



水山 洋輔 議員

塩田町の
まちづくりは庁舎利活用を
重要課題として
事業を推進する

答

水山 塩田庁舎利活用と周辺施設の整備など全体のなまちづくりの考えは。

市長 庁舎機能の集約、商業施設撤退による利便性低下や活気低迷の懸念がある中で、不安を払拭するために、塩田庁舎の利活用をしっかりと検討し計画することが塩田地区

ひいては市全体のまちづくりに寄与すると考えている。重点課題の一つとして事業を推進する。

水山 行政窓口機能は、全ての手続、相談業務を塩田で完結できる体制になるのか。

市長 市民課の窓口業務や他の課の利用頻度が高

い手続等を集約した総合窓口を設置予定。市民サービスの低下を招かない体制構築に努める。

水山 塩田庁舎周辺のバス停の集約は。

市長 利便性の観点から効果が見込まれるため、長期的な視点で整備ができるよう協議を進めていきたい。

水山 歴史民俗資料館のリニューアルについて。

教育長 取りあえず今の場で管理をしていきたい。
水山 歴史民俗資料館のありかたは。

教育長 伝建地区内で資料館の出張展示や、塩田庁舎内での図書館の一部

利用など総合的に検討する。

市長 塩田津の連携も重要になるため基本設計において関係各所へヒアリングを行う。

観光施策について

水山 全国お茶まつりと売茶翁生誕350年を関連させた企画について。

市長 歴史的な施設の連携を検討している。大茶樹が天然記念物指定100周年を迎えるため、PR材料の一つにしたい。

水山 塩田町出身の陶磁器デザイナー森正洋氏生誕100年を波佐見町と

連携した事業の検討は。
産業振興部長 肥前窯業圏であることも踏まえ、観光資源になり得るかどうか検討していきたい。

水山 乾電池（充電池、リチウム電池）や蛍光灯など有害ごみの拠点回収の検討は。

ごみの分別処分について

水山 乾電池（充電池、リチウム電池）や蛍光灯など有害ごみの拠点回収の検討は。

環境下水道課長

処理業者に相談しながら、拠点や管理方法の検討を行う。



▲ 塩田町の賑わいを



諸上 栄大 議員

諸上 市長の就任に際して、選挙公約や市政の方針を各部長や課長等に直接指示されたのか伺う。

市長 今後、総合計画の策定等で考えを反映できるように、各課と連携しながら私の施策の方針等を伝えていきたい。

諸上 政策会議や部課長

市長 スマホで証明書の請求や給付金の手続き、施設の予約などは非常に利便性が高いと考える。

また、健診の予約などの機能としてはたくさんあるので、随時、機能を拡大させていきたい。そのほかにも、道路の損壊などのまちの不具合の報

の社会で進展しているの

で利用しやすいデジタル化を推進していきたい。デジタルに不慣れな方がいらっしやると思うので、デジタルサポーターの活用、地域資源の活用に関しては、スマホ市役所の導入とともに連携しながら進めていきたい。

があっただけの段階ということである。対応については今後検討を進めていく。

もし仮に配湯事業の売却を市で受けるとなった場合は、様々な面において県と連携できるとうふうを考えている。



森田 明彦 議員

市長就任後、 まず取り組みたい事案は

答 塩田町のスーパー跡地、
この誘致を最大限取り組む

森田 誘致に関し物理的な支援を計画され、背中を押して頂くが、市の中小企業・小規模企業振興条例第8条に「市民の理解と協力」の条があり、地元のお店で買い物をする機運を図ることも大事ではないか。

市長 個人の消費行動を制限はできないが、市民

森田 誘致に関し物理的な支援を計画され、背中を押して頂くが、市の中小企業・小規模企業振興条例第8条に「市民の理解と協力」の条があり、地元のお店で買い物をする機運を図ることも大事ではないか。

市長 個人の消費行動を制限はできないが、市民

森田 国道34号今寺バス停から一位原間の歩道設置および今寺公民館前の交差点改良工事の進捗状況について

市長 最優先課題と捉え沿線5市と連携し、要望活動を行っていききたい。



▲ 買い物に困らない環境づくりを望む



スマホ市役所へデジタル サポーターの有効活用を

答 連携しながら
進めていきたい

会議などで市長のビジョンを早めに出すのは必要と思うが。

市長 政策会議を用いて私の考えを庁舎内で共有を図っていききたい。

諸上 市長の選挙公約から『スマホ市役所の導入』について、具体的な内容を伺う。

告や、アンケートなどもスマホの中で集約できる体制を構築していきたい。

諸上 いわゆるスマホ弱者に對してのフォロー体制がかなり重要となると思うが、地域にいるデジタルサポーターを社会資源として活用できないか。

市長 デジタル化は、こ

の皆様が地元店舗を利用する取り組みも進めていきたい。

西九州新幹線について

森田 市も市議会も全線フル規格での開業を訴えてきたが、新市長も同じ考えで間違いないか。

市長 最優先課題と捉え沿線5市と連携し、要望活動を行っていききたい。



▲ スマホ弱者への手厚い対応を



況は。

建設部長 国道事務所では令和6年に始まり、今後用地協議を行われる予定である。

また、交差点については用地取得協議を進め、歩道整備と同時期に実施を予定されている。

その後どうなっているか。

市長 指摘の箇所は地目がため池であるが、消火施設整備において重要な地点であり、現場周辺の防火施設状況も踏まえ、

総合的に判断をして、消防体制の充実に努めていきたい。



諸井 義人 議員

諸井 進展が進まない状況を打開するためにはどうしたらいいか。

副市長 地元の皆様が一枚岩になって、市と県と地元ともう一回相談に行くのが良いのでは。

市長 改善が必要な要望箇所と認識している。現地測量の合意が取れるように県とも連携しながら積極的に関わっていききたい。

諸井 武雄鹿島間のバイパスについての状況は。

市長 国道498号の整備が町づくりに大きく寄与することが必要。現状のルート帯は東側を示されているが、企業誘致に

つながるような西側の検討も再度できるのか確認していきたい。

諸井 火の口交差点からの拡幅延伸を地元から要望されている。どう考えているか。

市長 火の口交差点から社会福祉法人済昭園までの現道拡幅及び歩道設置については、市としても毎年知事へ要望している。今後も続けていきたい。

治水対策について

諸井 不動ダムがあれば塩田の浸水は防げると思う。不動ダムについて県はどうなっているのか。

建設部長 現在は県において治水を目的とした新規ダムの建設計画はない。

諸井 頭首工や堰は何ヶ所あるのか。

農林整備課長 全体で約300ヶ所。転倒堰及び倒伏式の堰は38ヶ所となっている。

諸井 頭首工の修理についての負担の割合は、国55%、県15%、市21%、地元9%となっている。県の負担を増やし、地元負担の軽減の要望はどうか。

市長 地元負担の軽減に寄与できるよう制度の改正に関して引き続き要望していきたい。



▲非常に危険な国道498号

諸井 八幡川の転倒堰が数年前から故障している。修理の予算はどうなっているか。

農林整備課長 梨本頭首工については、要望をしているので県の予算が付き次第補正での対応になる。堰が起きない、倒れ

ないと河川に影響を与えているので、河川の応急対応で実施する。



国道498号の現道拡幅要望の進展は

答 地元合意形成に努める



芦塚 典子 議員

芦塚 安心して子育てができる具体的な政策は。

市長 保育料の第2子以降の完全無償化並びに多子世帯の支援の拡充等子どもまんか社会の実現を推進していく。出産祝いとしておむつの支給など取り組めるよう財源の確保を優先していきたい。

していく。窯業に関しては吉田の窯元と九州大学の学生とのコラボ商品を開発しており引き続き連携を深めていく。

芦塚 農業産出額(野菜・果実・花き)が鹿島市の半分であり、稼働農業を推進する政策を考えるべきではないか。

市長 有機農業の補助金を活用して取り組む生産者もあり、県と連携し振興策に取り組んでいく。

芦塚 広域道路と企業誘致を図った雇用創出に関して具体策を伺う。

市長 広域道路の整備が企業誘致につながり住宅政策にもつながっていく。

や志田焼きの里、吉田焼きリシタン関係史跡とか回れる周遊バスなど交通機関に対する考えは。

市長 公約で「ご当地バス」を提言しているが周遊バスも視野に検討する。

芦塚 県と連携した治水対策を伺う。
市長 治水対策を優先的

に取り組んで欲しいという市民の切なる声を聴き、しっかりと取り組む。





辻 浩一 議員

新幹線フル規格の 早期整備の必要性は

答 嬉野市として重要だ

辻 前任期中に共に、議員として早期整備の意見書を全会一致で県に提出した。その時の考えに変わりはなかろう。

市長 嬉野市にとって重要と考える。引き続き一生懸命取り組んで行きたい。

辻 道路整備も併せて行えば、県内及び西九州全体の活性化につながると思うがいかがか。

市長 新幹線整備と道路整備を同時に進めて行きたい。

辻 企業誘致についてフル規格の整備がなされるかどうかで、影響があったのではないか。

副市長 企業誘致を推進するにあたり、大きなアイテムになっていくのではないかと感じている。

辻 フル規格での整備について、調査の結果過半数の理解が進んでいる。しかし県はそれだけでは、何かがあると言っている。県にパイプがあるとのことなので、進まない理由を聞いてほしい。

市長 知事も国政課題の一つとらえている。近隣の市町と連携しながら取り組んで行きたい。

辻 温泉保全をどうする

源泉の水位低下に対

しての対策はどうしている。

市長 源泉所有者会議の中で、状況確認し揚湯量を抑える取り組みをしている。

辻 お客様が増えるのはありがたいが、源泉の水位の問題が続くと思うが認識はどうか。

市長 節湯に加え配湯管の整備も必要だと思う。

辻 源泉の譲渡の話が出たが、現在の状況はどうなっている。

副市長 譲渡の申し出があった段階で、交渉している状況にない。

辻 行政が取得することで、漏湯などの対策等が



▲ フル規格での早期整備を

取り組みやすくなるのではないか。

市長 市が所有し管理することは一つの対策、安定した方法だと考える。

辻 市に譲渡の話が来たことは、良いきっかけだと思う。源泉のバランスを保つために重要ではな

いか。

市長 源泉の枯渇は様々な事業に波及する。対応できうる限り努力していく。



安心して子育てができる まちとは

答 子どもまんなか社会の実現に取り組む

芦塚 農業・茶業・窯業等の目標或いは構想は。

市長 地場産業の振興を図る。人手不足が加速しているので新規就農者への支援を充実、圃場の整備や用水路の整備など県と連携し進めていく。また、うれしの茶、抹茶の取組をPRし生産支援を

市長 稼ぐ農業として果実等の栽培は、一つの方策であるので農業政策として勉強していく。

芦塚 農水省が推進する有機農業においても熊本県の有機農業認証制度が進んでおり、県と連携協力し有機農業にも力を入れていただきたいが。

県と連携し雇用の最大化を図っていく。

芦塚 嬉野泊を中心とした観光づくりについて。

市長 「ご当地バスで駅前から町なかへ」を提案し魅力ある観光地づくりをしていく。

芦塚 駅を降りたら、観光地へいける、伝建地区



出典（子ども家庭庁HPより）

▲ 子どもまんなか社会を目指して！



川内 聖二 議員

各地域に必要な事業を

答 一生懸命
頑張っていきたい

川内 今回の市長選挙で、市長が掲げた公約の「両町のバランスある行政投資」の説明を伺う。

市長 塩田町、嬉野町、そして、吉田地区もあり、各地域がそれぞれの特色をいかしたまちづくりを進めるに当たって、しっかりとバランスの取れた発展に資する行政投資をしていきたい。

川内 バランスという言葉は、はやめて、嬉野市全体で各地域に必要な事業を、市民からの声を形にするようにお願いをしたい。

市長 一生懸命頑張っていきたいと思っている。

川内 公約で「納得と賑

わいの塩田庁舎周辺整備

へ」とある。塩田庁舎の利活用は市民の皆様が活用するように良くしてもらいたい。豪雨時に近隣の皆様の車両等の避難所としてこれまで以上に車両が避難できるように考えてもらいたい。

市長 せっかくこういった整備をする機会であり、車両の避難所になり得るのであれば、できる限り対応が可能かどうかを検討したい。

川内 「シニアスポーツの聖地、スポーツ施設のナイター設備の設置」と公約にあるが、みゆき公園のグランドゴルフ場を

人工芝にするのも公約に当てはまるのではないかと伺う。

市長 私の理念と合致するので、グランドゴルフをされている方の環境の向上に努めていきたい。

川内 「治水対策の推進」に関して排水機場のポンプを大きくしても塩田川の水位が上がりますとポンプの水は吐けない。治水ダムとして不動ダムの建設を県へ要望はできないか。

市長 河川の管理は県とすることで、県との連携強化は必要不可欠と考える。情報を連携しながら進めていく必要があると

考えている。

川内 公約の「賑わいのある駅前整備」について西口側の店舗の計画を伺ったが、東口側の保留地にも商業施設等企業誘致をするようにしてもらいたい。

市長 そういった面の広がりを持って駅前整備を進めて魅力向上に努めていきたい。



▲ 地域に沿った対策を



古川 英子 議員

古川 遺族会の地区ごとの人数を伺う。
福祉課長

嬉野地区 136名
吉田地区 59名
塩田地区 39名
久間地区 40名
五町田地区 48名
合計322名である。

いない。

古川 市内の塔や碑を確認したところ、明治37年の碑もあり、記載された名前の判別が難しい状況であり、名簿があれば良いと思った。

また、清掃が行き届いている一方で、草木が立ち枯れている箇所もあり

いけるのか不安が残った。市として今後の対応を検討していただきたいが。

市長 戦没者を祀っている大切な場所であり、老朽化や安全面への配慮、遺族会員の減少に伴い持続的な管理の継続などが現実的な問題である。塔や碑は嬉野市の所有

ター周辺の除草作業の日程は検討されているのか伺う。

建設部長 県道の植樹に関することなので、県へつないでいきたい。

古川 今年は特別なイベントが多いため積極的な働きかけが必要ではないか。

建設部長 イベント等多いことから対応について県へお願いしたいと思う。





太田 政信 議員

狩猟免許を更新しない人が多い理由は

答 高齢化が進んでおり捕獲が十分にできない

農業政策課長 高齢化が一番の課題ではないかと考える。

太田 今後どのような形で免許取得者が継続して活動できる環境を作っていくのか。

農業政策課長 更新等の

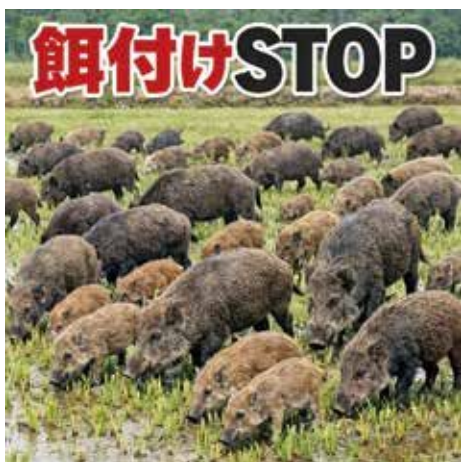
消防団について

太田 年末警戒や出初め式、訓練などのあり方について見直しや廃止を検討する考えはないか。

市長 消防団幹部、部課長会議で今後検討していく。

太田 市民が自発的に学

太田 市民が自発的に学



▲ ヒコバエはイノシシの餌場になります



観光商工課長 慎重な議論が必要。

太田 バーコード決済導入で利用拡大を検討できないか。

戦後100年に向けて

答 関係機関の団体と丁寧に対話を重ね検討していきたい

占 慰霊碑等の数と場所を伺う。

福祉課長 現在把握しているのは15基である。

占 塔や碑に名前が刻まれているが、戦没者の名簿はあるのか。

市民福祉部長 戦没者追悼式にて柱数を紹介するが、個人の確認はできて

寂しい状況だった。現在の清掃活動はどうなっているのか。

福祉課長 遺族会や地区のボランティアの方々で実施されている。

占 現在、お孫さん世代が清掃を担っている箇所もあり、戦後100年を見据えた際に維持して

ではないが、遺族会や地域の方々と丁寧協議していく必要がある。

除草作業について

占 今年は新庁舎開庁や全国お茶まつりの品評会があり、来訪者の増加が見込まれるが、イン



▲ 戦後100年に向けて存続を



大串 友則 議員

市長が掲げる市民総参加型のまちづくりとは

答 市民の声を大切に聞き、信頼される市政を遂行する

大串 市長は就任に当たり「市民との対話」を掲げた。市民総参加型のまちづくりをどう具体化していくのか伺う。

市長 対話を通じ、市民の意見に真摯に耳を傾ける。市民の声が届き、納得感のある行政を遂行したい。

具体的には、出張座談会の開催や、スマホ市役所によるアクセス向上を図る。地域の行事にも積極的に足を運び「顔の見える市長」として動く。

大串 公約実現には現場職員の意欲が不可欠だ。組織活性化にどうリーダーシップを取るのか伺う。

市長 私自身が現場主義を貫き、職員と同じ目線で課題に向き合う。市役所内の共有ツールも活用し、若手からも直接提案を受けられる環境を整えたい。

大串 子育て世帯の負担が重い「0歳から2歳児」の保育料無償化を実現すべきではないか。

市長 未来への投資として重要視しており、実現を目指したい。保育料を完全無償化するにはさらに約4千万円の財源確保が課題だが、既存事業の精査や優先順位の見直しを行い、知恵を絞って取り組む。

大串 新幹線開業の効果を市内全域へ波及させる戦略と、若者の定住施策について伺う。

市長 人流データなどを分析し二次交通の整備も検討したい。地域おこし協力隊の活用など検討し、お茶や焼き物等の地場産業の振興を並行して進め、若い力も呼び込み定住を促進する。

また、フル規格がかなえば、遠距離通勤も可能になり、併せて移住定住を促していきたい。

吉田中学校の合併に対する陳情について

大串 少子化に伴う吉田中学校の統合について、保護者から陳情が出ています。市長の所感は。

市長 部活動の選択肢や人間関係の固定化など、当事者の切実な思いを認識している。ゼロベースで地域や保護者と協議を重ね、子供たちの将来を最優先に判断していく。



▲市民の声をダイレクトに市政へ



梶原 睦也 議員

梶原 市長は、「市民総参加型のまちづくり」、「笑顔倍増、人生100年時代を見据えた住みよいまち」 「帰ってきたくなる誇り高い嬉野」、「県との連携強化で市政を前進」の4つの基本政策を示されているが、実施スケジュールを伺う。

記述がないが。

市長 公約にはないが取り組んでいくべき内容と理解している。

物価高騰・人口減少・移住支援について

梶原 市独自の物価高騰対策として約41億円の財

の医療費等の完全無償化に取り組むべきと考えるが。

市長 子供の医療費は現状のままよいと考える。一方、保育料の完全無償化や給食費の無償化は出来る限り取り組みたい。

梶原 市営住宅建設と生活弱者に対する住宅支援

けた勉強会を進めていく。

梶原 ベーシックサービスの考え方について市長の見解は。

市長 行政サービスを無償化する制度と理解している。まずは子育て世代を優先的に取り組んでいきたい。

梶原 人口減少・移住対策についての考え方は。

市長 急速に進む自然減と若者の流出による社会減が同時進行している。





山口 虎太郎 議員

温泉資源について新たな情報共有の場を設定するのか

答 旅館組合等と連携しながら進めていく

山口 源泉水位の低下等は情報共有だけで問題解決ができるのか。担当課としてはどう考えているのか伺う。

山口 前市長は温泉資源の情報共有を、新たな共有の場を設定していくと答弁をされていたが、取組はどのようにされているのか。

市長 源泉所有者会議ではこれまでどおり進めていく。温泉資源の保護に関しては、温泉に係る事業者の協力も必要であるため、情報共有の場を設けることができるように、旅館組合等とも連携しながら進めていきたいと考える。

山口 源泉水位の低下等は情報共有だけで問題解決ができるのか。担当課としてはどう考えているのか伺う。

山口 全国お茶まつりの準備状況は。

茶業振興策について

山口 全国お茶まつりの準備状況は。

茶業振興課長 市の実行委員会での事業として、全国茶品評会出品に向けた支援や、イベントと

観光商工課長 源泉水位の低下の問題については、温泉の揚湯量を抑え、コントロールしていくことが重要だと考えている。そのために源泉の集中管理が一つの方法だと考える。今後も源泉所有者や県と協力し、コントロールできるように取り組んでいく。

山口 生産支援も、関係機関としっかりと協力しながら、良質なお茶の生産を実現できるように進めていきたい。

山口 基幹産業として継続していく為に、市長の政策を伺う。

市長 うれしの茶の新しい魅力として、碾茶や抹茶の製造が始まる。生産支援や、うれしの茶のPRを全力で行っていき

山口 基幹産業として継続していく為に、市長の政策を伺う。

山口 うれしの茶の新しい魅力として、碾茶や抹茶の製造が始まる。生産支援や、うれしの茶のPRを全力で行っていき



▲ 大切な資源を守れ

企画政策課長 旧公会堂

跡地に設置されている銅像、記念碑については、本市の歴史や文化を象徴する貴重なものと認識しているが、銅像及び記念碑の移設を行う計画はない。

庁舎周辺の整備について

山口 旧公会堂跡地にある、森永文二氏の銅像と他記念碑は西公園へ移設できないのか。



子供の医療費・保育料等の完全無償化を

答 保育料・給食費の完全無償化に取り組みたい

市長 令和8年度に施策の検討を行い、令和9年度に実施を図っていききたい。

梶原 数値目標は提示されるのか。

市長 総合計画、総合戦略の数値目標に合わせて実施する。

梶原 SDGsに対する

政調整基金を使う考えはあるか。

市長 市の財政状況も踏まえながら活用したい。国の交付金についても要望を続けていく。

梶原 子育て世帯支援として保育料の第2子無償化の実現は本当に良かった。今後は保育料や子供

市長 市営住宅を新たに新設するより家賃補助や住宅セーフティーネット制度を活用したい。

梶原 家賃補助等を実現するために早期に居住支援協議会を立ち上げていただきたい。

市長 協議会の設置に向



▲ 子どもが安心して暮らせるまちへ



團 隆則 議員

介護予防事業の効果は

答 介護予防教室の効果が出ている

團 後期高齢者の増加や独り暮らし高齢者の増加など、課題を踏まえた上で、市として今後どのように介護予防事業を進めていく考えなのか伺う。

福祉課長 独り暮らしの方は特に社会と接する機会が少なくなるため、外に出て地域の方と接する機会ができるように、通いの場へのお誘いや、ケアマネジャー・地域の方からの声かけを行い、外に出かけるきっかけを作っていきたい。

團 嬉野市における要介護認定者の過去のデータと比較すると、横ばいのような状況と認識している。

要介護以上の方については少し減少していると捉えている。要支援者が増えて要介護者が減ったという所で、介護予防事業の効果があるという認識で良いのか。

福祉課長 介護予防教室の効果があるものと考えられる。杵藤地区の介護保険の連絡協議会に参加した際、介護予防教室の実施により、体力増進や閉じこもり予防などの多面的な効果が上がっており、保険給付費の減額にもつながっているという報告もあったため、嬉野市も同様の傾向ではないかと感じている。

團 介護予防事業参加前後で成果の指標となる握力、歩行速度などの評価測定を行い、効果検証を実施しているか。

福祉課長 令和6年度から介護予防評価事業を開始し、握力や歩行の速度など測定はしているが、現時点では初年度のデータのみとなっている。

團 市長の政策でeスポーツ（ボウリング、太鼓、ドライビング）に関して、認知機能が上がった、筋力が上がったなどの効果が確認されているのか。

市長 福祉事業に取り組んでいる関係者から、事



▲ 積極的な介護予防の取り組み

例を検証された話も聞いている。
また、判断力の活性化や認知機能の向上、ドライ

イビングゲームについては男性の参加が増えるなど、好事例があると情報を得ている。



阿部 愛子 議員

阿部 令和8年4月から水道料金が値上げで市民の負担が重くなる。支援策を講じる考えはないか。

市長 国からの物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用して、生活者支援臨時給付金事業、1人1万円と、子育て応援手当支給等の事業を

水道法第1条の目的には水の清浄、豊富、低廉の3原則があり国民の福祉向上に寄与するとある。水道会計への国庫補助金や負担金の国の割合を拡充して求めるべきだと思

うが。
市長 西部広域水道企業団と連携をして必要であ

には廃止の予定である。
阿部 水道管の口径の減径工事費に対しての補助金はあるか。また、市独自の支援策はあるか伺う。

市長 嬉野市では、ほとんどが13ミリであるために支援に当たらない。1月の国からの物価高騰の交付金から様々な活用し

思う。その時の判断になる。

教育長 本市単独での財源では大変厳しい状況である。

中学校の給食費無償化について

阿部 小学校の給食は4月から国の制度で無償化になる。中学校も無償化にならないか伺う。





宮崎 良平 議員

県との連携による源泉保護の財源の裏付けは

答 財源に関して具体的に申し上げてない

宮崎 公約の中で「県との連携による源泉資源保護」と掲載されているが、今後市長としてどのような形で、またいつまでに、どのように結論つけて進めていくのか伺う。

市長 源泉事業の譲渡の件では、しっかりと中身を精査し協議を進めていくべきだと考える。

市が管理するということとは、安定化に向けた取組の一つであると認識をしております、事業を進めるに当たっては様々な検討課題が増えてくるので県とも連携し、また財政的な負担の説明責任も同時にしていかなければと考

えている。

譲渡に関してのスケジュールとしては、令和8年度までの取組として検討をすべきだと考えている。

宮崎 県との会議の中で、財源等の裏づけをとれているのか。

市長 具体的に県の担当者とは、具体的な中身について申し上げてないが、連携したい旨は伝えた。

宮崎 源泉資源保護課と源泉集中管理課というような、課の設置が今回の機構改革の中で協議等なかったのか伺う。

副市長 今後、そのような業務を担える課の係

にいたいただき、水道料金の値上げ分も含んだ政策になっている。

阿部 西部広域水道企業団と首長との会議で水道料金の緩和措置を延長してもらえるよう求められるか。

市長 それ以降同様の検討が必要になって来ると

新設も、新庁舎の開業時に行うため事前の相談、協議をしている状況である。

宮崎 源泉の保護、塩田庁舎周辺整備等、様々な課題を抱える中で、財源が大きな問題と考える。そこで第2世代交付金が有効的かと考える。

選択要件が、産官学金労言（産業界、行政、学校、金融機関、労働組合、メディア）といった地域の多様な主体の参画が必要で、原則3年、将来的に自走化できることが要件である。国に直接嬉野市単独で申請することが可能なのか伺う。

副市長 配湯管含めた嬉野町のまちづくりと、塩田庁舎の活用という観点を合わせて1つの計画が作れないか各課と協議したが、大きなパッケージ故、時間がかかり、塩田庁舎の活用という部分に遅れが出てはいけないとの判断で、今回は塩田庁舎の利活用のほうにその第2世代交付金を充てたいということで計画していた例がある。



▲ 財源の確保は大丈夫か？



水道料金値上げ対策を

答 国の交付金で対応する

行っている。

阿部 11月に西部広域水道企業団へ値上げをしないで欲しいと政党議員団で申し入れを行った。

人口減少、管路の老朽化、耐震化などの理由を挙げ、国の指導で水道法等に従い適正な水道料金に改定するとあったが、

ればできる限り国への要望をしていきたい。

阿部 今、嬉野市に2ヶ所ある浄水場はどうなっているのか伺う。

建設部長 岩屋川内の浄水場は西部広域水道企業団の施設となっており、現在も稼働している。岩ノ下浄水場は令和8年中

ていたいただき、水道料金の値上げ分も含んだ政策になっている。

阿部 西部広域水道企業団と首長との会議で水道料金の緩和措置を延長してもらえるよう求められるか。

市長 それ以降同様の検討が必要になって来ると



▲ 水道料金を上げないで!!

特別委員会紹介

議会広報編集特別委員会

議会広報編集特別委員会は、議会に対する市民の理解と認識を深め、開かれた議会の充実を図るため、年4回の定例会後に「議会だより」を発行しています。

原稿執筆から編集、校正まで、すべてを議員だけで行うのは全国でも珍しく、他自治体からも高い評価を受けています。

委員長 森田 明彦
副委員長 團 隆則

芦塚 典子
川内 聖二
宮崎 良平
阿部 愛子
大串 友則



議会活性化特別委員会

議会活性化特別委員会は「議員が変われば議会が変わる」「議会が変われば行政が変わる」「行政が変われば嬉野市も変わる」をモットーに開かれた議会を目指し、議会報告会や議会のインターネット配信、各種会議の傍聴、他自治体からの視察対応等、議会改革を着実に進めています。

委員長 水山 洋輔
副委員長 諸上 栄大

梶原 睦也
辻 浩一
山口虎太郎
古川 英子
太田 政信



閉会中の委員会審査(調査)付託案件

令和8年第1回定例会

| 付託事件名 | 付託委員会名 | 付託期間 |
|--------------------------------------|-------------|---------|
| 財源の確保について | 総務企画常任委員会 | 次期定例会まで |
| 子どもの権利について | 文教福祉常任委員会 | 次期定例会まで |
| 市内施設について | 産業建設常任委員会 | 次期定例会まで |
| 各期の議会の会期日程等の議会運営に関する事項及び議長との諮問に関する事項 | 議会運営委員会 | 次期定例会まで |
| 議会の活性化を図るための調査研究 | 議会活性化特別委員会 | 調査終了まで |
| 議会広報の編集発行に係る調査研究 | 議会広報編集特別委員会 | 調査終了まで |

第2回定例会(6月) 会期日程(案)

| 6月 | | | | | | | | | | | | | | | | | 5月 | | | | |
|----------|-----|------|------|------|-----|-----|------|------|-----------------|-----------------|-----------------|----|----|----|----|----|-------|-------|-----|-----|-----|
| 19日 | 18日 | 17日 | 16日 | 15日 | 14日 | 13日 | 12日 | 11日 | 10日 | 9日 | 8日 | 7日 | 6日 | 5日 | 4日 | 3日 | 2日 | 1日 | 31日 | 30日 | 29日 |
| 金 | 木 | 水 | 火 | 月 | 日 | 土 | 金 | 木 | 水 | 火 | 月 | 日 | 土 | 金 | 木 | 水 | 火 | 月 | 日 | 土 | 金 |
| 討論・採決、閉会 | 休会 | 一般質問 | 一般質問 | 一般質問 | 休会 | 休会 | 議案質疑 | 議案質疑 | 休会 (市長不在のため) | 休会 (市長不在のため) | 休会 (市長不在のため) | 休会 | 休会 | 休会 | 休会 | 休会 | 常任委員会 | 常任委員会 | 休会 | 休会 | 開会 |

用語の意味をおしえて みんな知ってる?

Q 骨格予算とはどんな予算?

年度末に選挙があり、市長の政策的経費の計上が難しい場合に、人件費や継続事業など必要最小限の経費を中心に編成する暫定的な予算です。このような時には、政策的な新規事業などは、のちの補正予算で対応します。

A

Q 基金とは?

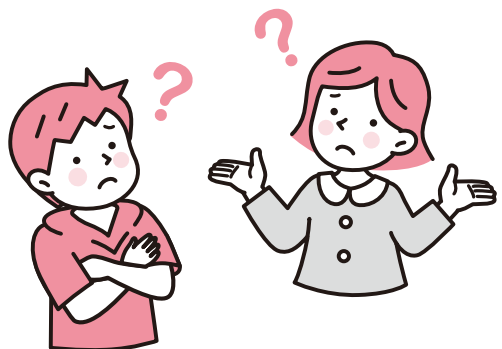
将来の特定の目的や財政の安定化に備えて積み立てておく市の貯金です。庁舎建設基金や財政調整基金など特定の目的ごとに積み立てます。

A

Q 自主財源と依存財源はどう違うの?

自主財源は、市税や手数料など市が自ら確保できる収入で、使い道も制約なく自由に使うことができます。一方、依存財源は、市に対して国や県などから交付されるお金で、特定の目的や事業に使う必要があります。

A



議員紹介
第1回定例会
補正予算
議案のなかみ
事業のなかみ
人事・賛否表
発議・陳情
一般質問
特別委員会
付託案件ほか
議員とかがらう会



執行部からの回答

等に対する



令和7年11月4日から7日までの4日間で議会報告会「議員とかたろう会」を各コミュニティ単位で7カ所で開催しました。報告会での皆様からのご意見等を取りまとめ市長に提出し、これに対する回答がありましたので報告します。

なお、今回はご意見の一部をピックアップして掲載しています。

全文は嬉野市議会ホームページの方をご覧ください。



の協力も頂きながら管理に努めています。平坂ブロック等の構造物補修は県の所管であり、県と協力しながら適切な管理に努めます。

Q 北部球場付近の石垣から小石が落ちてくる。通学路でもあり車両も多く危険。しっかりとした対策をお願いしたい。

A 現地の点検及び、浮石等の除去を行い、また石垣の該当箇所にもルタルを詰めて対応しました。

Q 春日深谷への道路が通行止めになって7〜8年になる。今後の復旧計画は。

A 市道春日線は大きな落石が発生し、令和2年11月21日から全面通行止めになっています。これまで土地の調査や対策工法の検討を行っています。用地や財源確保等が課題です。今なお検討中で今後の計画は未定ですが、問題解決に向けて取り組んでいます。

Q 被り木が多い市道がある。対策はどのようになっている

か。地区で対応しようとしても高齢化で難しい。

A 市道の被り木は、道路敷きからの樹木は市の対応ですが、民有地の樹木は所有者の管理です。市での対応が必要かどうか判断するため、行政区長を通じて建設農林整備課へご相談ください。

Q イノシシ対策のワイヤーメッシュ等の補助金を増やしてほしい。

A 検討します。

Q トラクター等の農機具価格が非常に高くなっている。購入等に市の補助率の上乗せはできないか。

A 市の補助制度は限られた財源の中で、できるだけ多くの農家に効果が及ぶことを基本に考え、現在は営農組合などによる共同利用を前提として支援をしています。

Q 公共施設の予約に関して、施設によっては2カ月前からと1年前から予約ができると伺った。公共施設の予約の統一を検討してほしい。

A 各施設の役割・特性を鑑み、管理運営上の理由から予約の受付時期がそれぞれ異なりますが、事業やイベントの運営上、早めの予約が必要と思われるものは、その都度ご相談ください。

Q 排水機場の本体の更新は適切にされているか。

A 市内4箇所の排水機場については、順次ストックマネジメント事業で設備の更新を行っています。

その他、故障など緊急を要するものについては、随時修繕更新等を行っています。

Q 学校体育館のエアコンの設置はどうなっているか。

A 体育館への空調導入は、断熱等の付帯工事も伴うため、多額の費用を要します。現在は校舎の長寿命化改良や教室の空調更新、バリアフリー化といった喫緊の課題への対応に多大な財源を優先しているのが実情です。そのため、今後国々の制度や動向を注視しつつ、他の整備事業と優先順位を十分に比較検討し、計画

Q 塩田川(嬉野地区)の遊歩道の平板が剥がれて歩きにくい。観光客にも勧められる河川環境にしてもらいたい。

A 遊歩道については、清掃・除草等は市の管理に加え地域

議員とがたろう会で意見

的に対応してまいります。

Q 嬉野温泉駅周辺の整備は、もっとまちが活性化するような取り組みが欲しい。意見を聞く場合は幅広い層から聴くようにしていただきたい。

A 駅周辺の整備に関しては、市で行う整備については完了しています。また、民間事業者へ事業用として貸している土地については、当初より段階的な活用を想定し整備が行われています。ただし、コロナ禍や物価、人件費の高騰、半導体不足、建築単価の高騰など様々な事情も重なり一定の見直しが生じています。駅周辺整備にあたっては民間事業が主体となって地元の様々な関係者との意見交換を図られていると聞いています。

また、中長期的な視点ももちながら戦略的に事業を進めていますので、今後も、民間事業者とは調整・協議を行っていきます。

Q 高齢のため免許証を返納する人が増えているが、交通難民になる。一時的なタクシー

券の補助はあるが、補助金の継続してほしい。

A 運転免許証を自主返納した高齢者に対し、運転経歴証明書発行費用相当額の補助金とタクシー券を交付しますが、高齢者の移動に関する補助金やタクシー券の継続的な交付には財政的な負担が生じるため、実施が難しい状況です。免許を返納された高齢者が利用できる福祉に関する交通手段として、要介護者や身体障がい者を対象とした福祉有償運送が市内で実施されているほか、吉田地区では福祉バス「ヨッシー号」の運行、塩田地区では「ごましお健康くらぶ」による移動や暮らしの支援が実施されています。免許返納後もこれらのサービス等や既存の公共交通機関を活用し、交通手段を確保してもらいたいと考えています。

Q 広川原キャンプ場において、オートキャンプの車代千円を市外利用者と同額に支払った。市民に対しての優遇策してほしい。

A 広川原キャンプ場は令和7年度より指定管理者制度に移行しています。開設から約50年が経過し、キャンプ場に対するニーズも変化していることから、利用者の利便性を高めるために移行したものです。これにより、WEB予約決済の導入や年間を通じた開設、ごみの処分などサービスの向上に繋がりました。このサービスを継続するためには、利用者のご理解とご協力が必要です。料金徴収についても、サービス向上のために必要ですので、ご理解をいただきたいと思えます。また、市民に対しての優遇策ですが、現在利用者の約95%が市外の方となっています。市内の子どもクラブなどについては減免制度がありますが、一般の利用については市内外の区分は設けていません。これは民間が運営しているため、市民かどうかの証明は困難で個人情報取り扱いにも関わるため、制度を導入しておりません。ご理解ください。





つじらむ
辻来夢さん
嬉野校舎生徒会長

嬉野高校では生徒会活動の一環として、

- ① 多世代交流で地域全体の活性化を促す。
- ② 「地域とともに歩む高校」を目指しシビックプライド(郷土愛)の醸成を育む。
- ③ 市議会議員との交流を通して、対話型社会貢献活動を行う。

この目的のもと、去る3月23日に我々議員団も参加し、清掃ボランティア活動を行いましたので、生徒会長の辻来夢さんにお話を伺いました。

トピックス
ときを読む



▲ 商店街清掃

辻さん 街や駅がきれいでごみが少なく驚きました。日頃清掃してくれていることを再発見し、感謝することにつながりました。

Q 嬉野温泉駅構内、駅周辺、商店街の3か所に分かれてのボランティアでしたが全体の感想は?

辻さん 18歳から選挙権もあり、主権者教育も受けたので、議員さんをより身近に感じ、とてもよかったです。

Q 今回、議員と一緒に活動して思った事は?

辻さん 市に少しでも貢献できてよかったです。そして、両校舎の生徒の交流ができました。

Q 活動を終えた感想は?

辻さん 課題を見つけることと探究活動の一環です。また、塩田校舎では従来から同様の活動をしていたので、今回、統一感を出すため両校舎一緒に実施しました。

Q ボランティア活動のきっかけは?

辻さん 学校の先生になりたいので頑張つていきます。

Q 今後の目標は?

取材を終えて

生徒会指導の先生同席のもと、生徒会長の辻さんはインタビューに、しっかりと対応してくれました。また、最後には先生になりたい夢も聞けたので、今後の活躍にも期待しています。



▲ 嬉野温泉駅清掃

議会広報編集
特別委員会

- | | |
|------|------|
| 委員長 | 森田明彦 |
| 副委員長 | 團 隆則 |
| 委員 | 芦塚典子 |
| 川内聖一 | |
| 宮崎良平 | |
| 阿部愛子 | |
| 大串友則 | |

険しい山に臨むには日頃の体調管理も大事ですが、私の場合、幸いにして健康に恵まれ、元気な身体を授けてくれた両親に感謝、そして気持ちよく送り出してくれる家族にも感謝ですね。

まちの喧騒から離れ、静かな山中で鳥のさえずりを聞きながら頂上を目指し歩けることは最高の贅沢だと思います▼体力に自信がある方、山に興味を持たれた方はぜひ挑戦されてはいかがでしょうか。

(明彦)

C コラム
COLUMN

だれでも様々な趣味をお持ちでしょう。

私は、その一つが登山です▼3月には佐賀県最高峰の「経ヶ岳」(1075m)に登ったので、少し触れてみます▼私の場合、山を選ぶ時、その山や里でしか観られない花や植物の時期を考慮して決めています▼この時期の多良山系では「マンサク」、里では、春の妖精の異名を持つ「セリバオウレン」が有名で、両方とも魅力的でした。